部内資料

県労組会議ＮＥＷＳ

２０２１年１０月
長野県平和・人権・環境労働組合会議
〒380-0838　長野市県町５３２－３
電　話　０２６（２３４）２１１６
ＦＡＸ　０２６（２３４）０６４１
E-mail　vi4h-kt@asahi-net.or.jp

県労組会議が総選挙に向け野党５人の予定候補を推薦

公助、共生、暮らし優先の政治をめざそう

県労組会議は、１０月３１日投票で行われる衆議院総選挙で、市民と野党の統一候補の５人を推薦しました。コロナ対策に行き詰った菅義偉首相が政権を投げ出し、岸田文雄政権が発足しました。安倍晋三元首相、菅義偉前首相と９年間続いた「アベ・スガ政治」は、国民・労働者の暮らしと仕事に、大きな“負の遺産”を残しました。岸田首相がアベ・スガ政治を清算しない限り、表紙を変えただけの政権に終わります。

総選挙では、市民・労働者と野党の共闘で、自助よりも公助、自己責任より共生、大企業や富裕層の利益よりも国民・労働者の暮らしを優先する政治へ転換を図りましょう。

１区　しのはら孝

２区　下条みつ

３区　神津たけし

４区　ながせ由希子

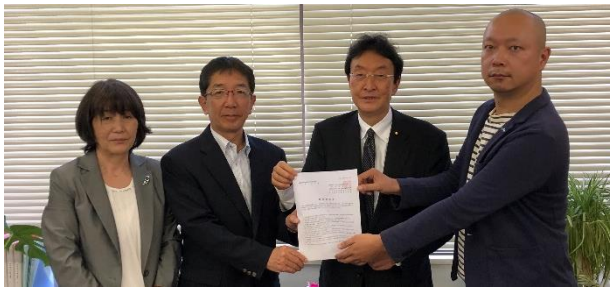
５区　そが逸郎

信州市民連合は９月２４日、長野市で５人の候補者が参加してキックオフ集会を開いた。

県労組会議が５人の推薦候補に「政策要望書」を提出

県労組会議および関係する地区労組会議は、総選挙の推薦候補５人に「政策要望書」を提出して、当選後には、労働者の労働や生活、平和や民主主義に関する課題について国政の場に反映するように要請しました。予定候補は全員、「要望された政策課題を受け止め、国政に反映させたい」などと答えました。

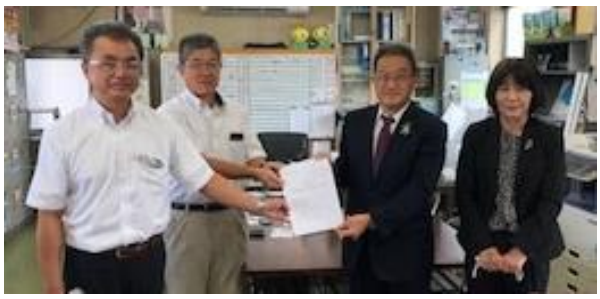
しのはら孝氏（１区）に要望書を提出



下条みつ氏（２区）に要望書を提出

神津たけし氏（３区）に要望書を提出

ながせ由希子氏（４区）に要望書を提出



そが逸郎氏（５区）に要望書を提出

県労組会議　５人の予定候補者に対する政策要望書

第４９回衆議院総選挙に向け、長野県平和・人権・環境労働組合会議、各地区労組会議は、下記の通りの政策要望を提出します。貴殿におかれては、私たちの政策要望を尊重していただき、当選後の国会活動に反映していただけるように要請いたします。

記

１．立憲主義に基づき、憲法９条の改悪に反対し、基本的人権の尊重、平和主義、国民主権を掲げる日本国憲法の原則を徹底して守ります。

２．核兵器禁止条約を批准し、脱原発と再生可能エネルギーへの転換を積極的に進めます。

３．沖縄県の米軍辺野古基地建設に反対し、日米地位協定の改定を求めます。

４．労働基本権を擁護し、労働者全体の賃金引き上げと労働者保護ルールの堅持、官民の非正規雇用の待遇改善を図り、正規雇用化をめざします。

５．男女の賃金格差、雇用格差をなくし、女性が安心して働き続けられる権利確立に取り組みます。また、ＬＧＢＴｓなどすべての差別の解消に取り組みます。

６．真の地方自治を実現するための財政を確立し、人員確保を進めます。病院、保健所、保育所、水道など市民の健康と生命にかかわる公共部門の充実をはかります。

７．コロナ禍と新自由主義によって打撃を受けた中小零細企業への支援を拡充し、雇用保障、労働条件の維持・向上に取り組みます。

８．規制緩和とコロナ禍の直撃を受けている地域公共交通の維持、活性化対策を強化します。

９．国有林は「国民の共有財産」であることを堅持し、地球温暖化防止の観点からも十分な予算を投入します。

10．食料自給率の向上や食の安全を確保し、地域における農林水産業を再建します。